

各 位

会 社 名 株 式 会 社 レ ー サ ム
 代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 剛
 JASDAQ コード 8890
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 松 倉 信 行
 電 話 03 (5157) 8881

平成 23 年 8 月期 第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 23 年 8 月期 第 2 四半期累計期間（平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 8 月期 第 2 四半期累計期間 連結業績予想の修正（平成 22 年 9 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 四半期純利益 (百万円) | 1 株当たり 四半期純利益 (円 銭) |
|--|--------------|---------------|---------------|-----------------|---------------------------|
| 前 回 予 想 (A) | 11,700 | 650 | 300 | 200 | 434.01 |
| 今 回 修 正 (B) | 3,932 | 60 | △ 309 | △ 363 | △ 787.74 |
| 増 減 額 (B - A) | △ 7,768 | △ 590 | △ 609 | △ 563 | — |
| 増減率= $\frac{B-A}{A} \times 100$ (%) | △ 66.4 | △ 90.8 | — | — | — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 8 月期第 2 四半期) | 7,152 | 420 | 75 | 154 | 335.68 |

2. 平成 23 年 8 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想の修正理由及びセグメント別連結業績見込み

当第 2 四半期連結業績予想の修正の主な要因は、資産運用事業における販売用不動産の販売および調達実績が、計画比で大きな減額であったことにありますが、一方でプロパティ・マネジメント事業及びサービスング事業では予想以上の利益が見込めるため、セグメント別に業績予想修正理由を説明いたします。

(単位：百万円)

| | 資産運用 事業 | 証券化 事業 | プロパティ マネジメント事業 | サービス 事業 | 投融資 事業 | その他の 事業 | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|--------------------|------------|-----------|-------------------|------------|-----------|------------|-------|-------|-----------------------|
| 売 上 高 | 1,908 | 10 | 733 | 1,013 | — | 270 | 3,936 | △ 4 | 3,932 |
| セグメント利益 又は損失(△) | △ 127 | △ 8 | 160 | 237 | △ 2 | △ 34 | 225 | △ 164 | 60 |

<資産運用事業>

当事業においては、主に個人富裕層を対象として、当社にて予め把握させて頂いているお客様の不動産投資意欲に合致した不動産を確保し、これを長期の運用商品として耐えうるものに加工した上で、お客様への販売を行っております。

第1四半期において、販売時期を第2四半期以降とした中型物件（複数）については、第2四半期までに販売すべく尽力してまいりましたが、特定のお客様との個別協議を丁寧に継続しており、残念ながら第2四半期までに引き渡しは出来ませんでした。よって第3四半期以降の販売に努めてまいります。また、当第2四半期までに仕入れた中・小型物件（複数）については、当社仕入れ後のバリューアップ活動は順調に進行しており、同様に第3四半期以降での販売に注力いたします。これらの理由により、第2四半期における当セグメントの売上高とセグメント利益が、従来の予想値よりも減額となりました。なお、現時点におきましては、これらの販売予想を通期の連結業績見通しに織り込んでおります。

また、当社の経営方針においては、計画利益達成のみならず、健全なバランスシートの維持も極めて重要と位置づけていることから、在庫物件の販売を優先し、その上で次の物件を仕入れるという基本スタンスを継続したこと、また、不動産の調達環境が厳しい中でも調達対象を厳選する姿勢を継続したことも、当セグメント売上高とセグメント利益が予想を下回った一要因であります。

<証券化事業>

当事業においては、主に国内外の機関投資家及び個人富裕層向けに、運用ニーズに応じた不動産私募ファンドを組成し、これらの私募ファンドからアセットマネジメント業務を受託することにより、アセットマネジメントフィー等の収益を得ております。当セグメントにおいては、予定どおりのアセットマネジメントフィー売上を計上しました。

<プロパティマネジメント事業>

当事業においては、主に当社販売後の物件に関する賃貸管理ならびに建物管理等の不動産投資運用サービスを提供しており、不動産の市況にかかわらず、お客様の満足度を高めていく活動を継続してきております。

当第2四半期は、当初の計画に比べ保有物件からの賃料収入が増加していることから、セグメント売上高およびセグメント利益ともに計画を上回りました。

<サービシング事業>

当事業においては、主に連結子会社であるグローバル債権回収株式会社が、銀行等の金融機関から自己勘定あるいは機関投資家との共同出資にて債権を購入し、これら債権の管理回収等の業務を行っております。

当第2四半期においても保有する既存の買取債権からの丁寧な回収活動に注力してきた結果、セグメント売上高は計画比で少額ながら減となった一方で、利益率の向上を図った結果、セグメント利益は計画を上回りました。

<その他の事業>

当事業においては、主に連結子会社である株式会社アセット・ホールディングスが保有するゴルフ場、「レーサム・ゴルフ・アンド・スパリゾート」を運営しております。当第2四半期は、コースコンディションの改良工事を行うために、ご来場の皆様にご不便をおかけしていた期間もあり、セグメント売上高は若干計画を下回っております。

3. 東北地方太平洋沖地震による影響について

- ① 3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、当社は3月18日までは短縮時間営業を行いました
が、3月22日より通常営業に戻っております。
- ② 当社本社事務所とその機能、および従業員への被害はありませんでした。
- ③ 当社保有不動産について、稼動に影響を及ぼす被害はありませんでした。
- ④ 当社が販売し、お客様より管理を受託している不動産についても、稼動に影響を及ぼす被害報告はあ
りません。

4. 通期の連結業績見通し

通期の連結業績見通しにつきましては、上述の東北地方太平洋沖地震が業績に与える影響を現時点で見極めることが非常に困難であることから、引き続き事業環境を注視したうえで必要があればあらためて公表いたします。

現在のところ、賃貸収入に与える影響には変化はみられません。

以上

上記の業績予想等に関する記述は、当社グループにおいて現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績については、さまざまな要因の変化により、これらの業績予想と異なる可能性があることをご承知おきください。